

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成28年9月1日 (2016.9.1)

【公表番号】特表2015-527178(P2015-527178A)

【公表日】平成27年9月17日 (2015.9.17)

【年通号数】公開・登録公報2015-058

【出願番号】特願2015-531323(P2015-531323)

【国際特許分類】

A 6 1 B 3/10 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B 3/10 R

【手続補正書】

【提出日】平成28年7月14日 (2016.7.14)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

眼球血管床内の血流を定量的に測定するための方法であって、
血流を定量的に測定する眼球血管床を選択することと、
そこから OCT スペクトルの M - B スキャンを取得するために、前記眼球血管床をスキャンすることと、
OCT スペクトルの前記 M - B スキャンを M 個のスペクトル帯域へと分割することと、
前記 M 個のスペクトル帯域から血流の定量的測定値を決定することと、
を含む、
ことを特徴とする方法。

【請求項 2】

前記 OCT スペクトルの前記 M - B スキャンを M 個のスペクトル帯域へと分割する前記ステップは、
前記 OCT スペクトルに及ぶ複数の重なりフィルタを作成することと、
前記複数の重なりフィルタで前記 OCT スペクトルをフィルタ処理することと、
を含む、
ことを特徴とする請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

前記 M 個のスペクトル帯域から血流の定量的測定値を決定する前記ステップは、
前記 M 個のスペクトル帯域に対する複数の相関除去画像を作成することと、
流体画像を作成するために、前記 M 個のスペクトル帯域に対する前記複数の相関除去画像を組み合わせることと、
を含む、
ことを特徴とする請求項 1 に記載の方法。

【請求項 4】

前記 M 個のスペクトル帯域に対する複数の相関除去画像を作成する前記ステップは、
各スペクトル帯域に対して振幅情報を決定することと、
各スペクトル帯域に対して隣接する振幅フレーム間の相関除去を計算することと、
を含む、
ことを特徴とする請求項 3 に記載の方法。

【請求項 5】

バックグラウンドノイズを除去するステップをさらに含む、
ことを特徴とする請求項 4 に記載の方法。

【請求項 6】

流体画像を作成するために、前記 M 個のスペクトル帯域に対する前記複数の相関除去画像を組み合わせる前記ステップは、

各スペクトル帯域に対して平均相関除去画像を作成するために、各スペクトル帯域に対して前記複数の相関除去画像を平均化することと、

前記 M 個のスペクトル帯域から前記平均化された複数の相関除去画像を平均化することと、

を含む、

ことを特徴とする請求項 3 に記載の方法。

【請求項 7】

過度の運動ノイズを有する各スペクトル帯域に対して相関除去画像を排除するステップをさらに含む、

ことを特徴とする請求項 6 に記載の方法。

【請求項 8】

眼性疾患を有することが疑われる被験者において、前記眼性疾患の存在を診断する方法であって、

血流を定量的に測定する前記被験者内の特定の眼球血管床を選択することと、

そこから OCT スペクトルの M - B スキャンを取得するために、前記眼球血管床をスキャンすることと、

OCT スペクトルの前記 M - B スキャンを M 個のスペクトル帯域へと分割することと、

前記 M 個のスペクトル帯域から血流の定量的測定値を決定することと、

健常被験者から取得されたものと、血流の前記定量的測定値を比較することと、

を含み、前記健常被験者から取得されたものと比較した、前記眼性疾患を有すると疑われる前記患者の血流における減少は、前記疾患の存在を示す、

ことを特徴とする方法。

【請求項 9】

眼球血管床内の血流を定量的に測定するためのシステムであって、

光干渉断層撮影装置と、

前記装置に結合され、前記眼球血管床から OCT スペクトルの M - B スキャンを前記装置に取得させ、M 個のスペクトル帯域へと OCT スペクトルの前記 M - B スキャンを分割させ、前記 M 個のスペクトル帯域から血流の定量的測定値を決定させるように適応された一つ以上のプロセッサと、

を含む、

ことを特徴とするシステム。

【請求項 10】

M 個のスペクトル帯域へと OCT スペクトルの前記 M - B スキャンを前記装置に分割させるように適応された前記一つ以上のプロセッサは、前記 OCT スペクトルに及ぶ重なりフィルタを作成させて、前記重なりフィルタで前記 OCT スペクトルを前記装置にフィルタ処理させるように適応されることをさらに含む、

ことを特徴とする請求項 9 に記載のシステム。

【請求項 11】

前記 M 個のスペクトル帯域から血流の定量的測定値を前記装置に決定させるように適応された前記一つ以上のプロセッサは、血流の定量的測定値を決定するために、前記 M 個のスペクトル帯域に対して複数の相関除去画像を前記装置に作成させて、前記 M 個のスペクトル帯域に対して、前記複数の相関除去画像を組み合わせるように適応されることをさらに含む、

ことを特徴とする請求項 9 に記載のシステム。

【請求項 1 2】

M個のスペクトル帯域に対して複数の相関除去画像を前記装置に作成させるように適応された前記一つ以上のプロセッサは、各スペクトル帯域に対して振幅情報を前記装置に決定させて、各スペクトル帯域に対して隣接する振幅フレーム間で相関除去を計算させるように適応されることをさらに含む、

ことを特徴とする請求項 1 1に記載のシステム。

【請求項 1 3】

血流の定量的測定値を決定するために、前記M個のスペクトル帯域に対する前記複数の相関除去画像を前記装置が組み合わせるように適応された前記一つ以上のプロセッサは、各スペクトル帯域に対して相関除去画像を作成して平均化し、前記M個のスペクトル帯域から前記平均化された複数の相関除去画像を平均化するために、各スペクトル帯域に対して、前記複数の相関除去画像を前記装置に平均化させるように適応されることをさらに含む、

ことを特徴とする請求項 1 1に記載のシステム。